

2026 年 9 月 10 日

株式会社日立システムズエンジニアリングサービス

Covalent 株式会社

日立システムズエンジニアリングサービスと Covalent が協業

9 月から始まる CRA 先行施行を見据え、製造業の PSIRT 運用体制整備を支援

両社の強みを組み合わせ、製品セキュリティ体制の構築から運用までをトータルで支援

HITACHI

日立システムズエンジニアリングサービス

Covalent

株式会社日立システムズエンジニアリングサービス（以下、日立システムズエンジニアリングサービス）と Covalent 株式会社（以下、Covalent）は、製造業における PSIRT（Product Security Incident Response Team）運用および EU Cyber Resilience Act（CRA）への対応支援に向けて協業を開始しました。

欧州では IoT 機器やソフトウェアを搭載した製品に対してセキュリティ対策を義務付ける CRA の施行が進められており、製品の企画・開発段階から運用・保守に至るまで、継続的なセキュリティ管理が求められています。2026 年 9 月からは重大なぜい弱性の報告義務が先行施行されます。これに伴い、欧州市場で事業を展開する製造業各社では、PSIRT 体制の整備やぜい弱性管理プロセスの確立が喫緊の課題となっています。

今回の協業では、日立システムズエンジニアリングサービスの SBOM^{*1}・SCA^{*2} 導入支援および 24 時間 365 日のマネージドサービス運用実績と、Covalent が持つ製品セキュリティ管理体制（PSIRT）の構築・運用に関する豊富なコンサルティング経験を組み合わせ、製造業各社を中心に、製品セキュリティ強化と CRA への対応を支援します。

*1 SBOM（Software Bill of Materials）：ソフトウェアを構成するコンポーネントの一覧。

*2 SCA（Software Composition Analysis）：ライセンスコンプライアンスおよびセキュリティぜい弱性のリスクを包括的に管理するための解析手法。

協業により期待される効果

1. CRA 対応の加速

PSIRT 体制の整備やぜい弱性管理プロセスの高度化を支援し、製造業各社の規制対応を促進します。

2. 製品セキュリティ人材不足の解消

企業が抱える製品セキュリティ人材不足や運用負荷を軽減します。

3. 継続的なセキュリティ運用の実現

ぜい弱性監視やインシデント対応を含めた継続的な運用支援により、製品セキュリティガバナンスを向上します。

4. 安全・安心な製品利用環境への貢献

製品セキュリティレベルの向上を通じて、製造業製品の利用者や社会インフラの安全性向上に寄与します。

背景

ソフトウェアを搭載した製品の普及に伴い、製品のぜい弱性を悪用したサイバー攻撃リスクは世界的に高まっています。こうした状況を受けて欧州では CRA が制定され、製品の設計・開発から運用・保守に至るまで継続的なセキュリティ対策が求められるようになりました。

CRA では段階的に義務化が進められており、2026 年 9 月からはぜい弱性やインシデントの報告に関する要件の適用開始が予定されています。さらに今後は、製造業各社に対してぜい弱性管理や PSIRT 体制の整備、セキュア開発プロセスの実装など、より広範な対応が求められる見込みです。

しかし、多くの企業では製品セキュリティに関する専門人材が不足しており、PSIRT の立ち上げや運用体制の維持、SBOM 管理への対応が大きな負担となっています。また、CRA に対応する必要性は認識しているものの、何から着手すべきか分からない、運用を継続できる体制を確保できないといった課題を抱える企業も少なくありません。

今後の展望

日立システムズエンジニアリングサービスと Covalent は、既存のコンサルティングサービスや SBOM・SCA 導入支援サービス、マネージドサービスなどを活用しながら、製造業向けの PSIRT 運用支援を推進します。あわせて、自動車、産業機器、医療機器、エレクトロニクス分野を中心に展開を拡大していきます。

さらに今後は、PSIRT 体制構築支援、ぜい弱性管理支援、SBOM 運用支援、運用サービスを統合したソリューション化を視野に入れ、製造業における製品セキュリティライフサイクル全体を支援する新たなサービスの提供についても検討していきます。これにより、国内製造業のサイバーレジリエンス向上とグローバル市場での競争力強化に貢献していきます。

日立システムズエンジニアリングサービスについて

日立システムズエンジニアリングサービスは、多彩な人材と先進の情報技術を組み合わせた IT サービスを通じて、お客さまと社会のニーズに応え、持続可能な社会の実現に貢献します。日立グループの一員として、日立の先進的なデジタル技術、業務ノウハウ、知識が蓄積された Lumada 事業を展開し、お客さまの DX 推進をサポート。生成 AI やデジタル技術を活用した現場業務の効率向上、セキュリティ侵害の脅威への対応、データセンター運用やお客さまの IT システム運用などのサービス提供だけでなく、お客さまやパートナー企業との協創によって、社会やお客さまの課題を解決します。

詳しくは、<https://www.hitachi-systems-es.co.jp> をご覧ください。

Covalent について

Covalent は、高度な技術知見と深い業界知見を組み合わせ「実態のあるソリューション」を提供しています。クライアントと真のパートナーシップ（Covalent bond）を築き、難解な課題の解決へと一緒に挑んでいくこと、テクノロジーとクロスボーダーのノウハウ及びツールをご提供することが我々のミッションです。

近年ではサイバーセキュリティ関連サービスの提供を開始し、主に製造業向けにサイバーセキュリティ対策検討に向けたリサーチ、プロセス・ルール・体制整備に関するコンサルティング、SBOM はじめとするツール導入を進めております。当該事業活動を進める傍ら、経済産業省の実証にも参画し、そのエクスパティを広く産業界に還元する取り組みも積極的に進めております。

詳しくは、<https://www.covalent-asia.com/> をご覧ください。

お問い合わせ先

株式会社日立システムズエンジニアリングサービス

お問い合わせ Web フォーム

<https://www.hitachi-systems-es.co.jp/contact/index.html>

お問い合わせ先

Covalent 株式会社

お問い合わせウェブフォーム

<https://www.covalent-asia.com/contact1>